

港北区制80周年・港北ふるさとテレビ局開局10周年



第9回 地域の力で「ふるさと」発見!

# 港北ふるさと映像祭

2019年 6月23日(日) 横浜市港北公会堂

11時開場 12時開演 16時30分終演 予定 (入場無料)

11時半より「大倉山夢まちづくり～太尾町より大倉山へ」をプレ上映

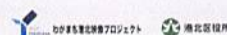
◆上映予定作品

- ・港北区制80周年記念動画
- ・発掘8mmフィルム映像
- ・港北ふるさと人物伝
- ・新横浜50歳の写真集
- ・まぼろしの篠原城
- ・おじさん公園のひみつ
- ・まりおんの夢
- ・その他地域の映像



祝

港北区制80周年



ご来場の80歳の方に  
プレゼントがあります



「まりおんの夢」



港北映像ライ  
ブラリより



山根城址まつり



「おじさん公園のひみつ」



主催: 港北ふるさとテレビ局

共催: 横浜市港北区役所

ワークショップ、ピリオド

わがまち港北映像プロジェクト

ホームムービーの日 in 横浜港北実行委員会

協力: (公) 大倉精神文化研究所/まいんどくらぶ/  
篠原城と緑を守る会/個別港学舎/びーのびーの/  
横浜港北図書館友の会/鶴見川舟運復活プロジェクト/  
大倉山ミエル/横浜港北地名と文化の会/なんでも舎/  
コミバス市民の会/こうほくの会/国際救急法研究所/  
菊名の未来を考える会/港北テレビ/大和田伸也・  
五大路子フレンズクラブ (順不同)

●お問い合わせは

港北ふるさと映像祭実行委員会

<http://kohoku-yokohama.jp/moviefes>

詳しくはホームページをご覧ください

メール [moviefes@kohoku-yokohama.jp](mailto:moviefes@kohoku-yokohama.jp)

電話 (045)401-6063

この活動は、港北区役所後援地域のチカラ応援事業の補助対象活動です。

この活動は「港北芸術祭」参加事業、文化庁が推進する「beyond2020プログラム」認証事業です。



● 「港北ふるさとテレビ局」とは、

横浜市港北区役所後援「地域のチカラ応援事業」による補助対象活動として映像制作活動をしている非営利の市民団体です。随時メンバーを募集していますので、ご興味のある方は、是非ともメールでお問い合わせください。

● どんな活動をしているの？

主に港北区の文化財、お祭りやイベントなど撮影し、記録保存するとともに港北区役所、港北図書館などの公共施設やインターネットで映像の配信しています。

また、横浜市内のイベントの生中継、オリジナル番組や地域映画の制作、学校をはじめ生涯学習用の映像の制作、既存テレビ局への地域ニュース映像素材の提供、番組制作なども行なっています。

事業としても、学校や市民団体のコンサート、ピアノ、ダンスの発表会の収録、講演会やセミナー、自治会行事や地域イベントの撮影や/3/制作のご依頼も受け付けていますので是非ともご相談ください。

港北ふるさとテレビ局

ホームページ: <http://kohoku-furusato-tv.org>  
 問い合わせメール: [mail@kohoku-furusato-tv.org](mailto:mail@kohoku-furusato-tv.org)  
 facebook: <http://www.facebook.com/KohokuFurusatoTV>  
 YouTube: <http://www.youtube.com/user/KohokuFurusatoTV>  
 (担当 伊藤)

港北区にお住いのみなさんは、港北区をどんな町と感じていますか？ただ住んでいるというだけじゃもったいない。港北区はすばらしい町です。せっかくここにお住いなら、「ふるさと」としての港北区を感じてみませんか？私たち「わがまち港北映像プロジェクト」では、私たちの町を「ふるさととしての港北区」として再発見できる映像作品をみなさんに紹介しています。

わがまち港北映像プロジェクトでは、港北区の昔を知る古老の話や、発展に寄与した先人の話などを、インタビュー形式で収録し、番組にしてホームページ「港北映像ライブラリ」で配信しています。また、それ以外にも港北の「歴史」「自然」「伝統芸能」「港北の雑学クイズ」など、の全部で5つのカテゴリに分けて映像作品を紹介しています。

港北区を愛するメンバーを随時募集していますので、ご興味のある方は、是非ともご連絡ください。

わがまち港北映像プロジェクト

ホームページ: <http://kohoku-yokohama.jp>  
 問い合わせメール: [mail@kohoku-yokohama.jp](mailto:mail@kohoku-yokohama.jp)



わがまち港北映像プロジェクト



● 「ワークショップ・ピリオド」とは、

映画をつくるワークショップとして活動を続けている私たちのグループは、港北区を中心に映像でこの地域を記録し続けています。地元の人と歴史のつながりなどの勉強会を開いたり、取材によって地域コミュニケーションを広げます。記録した映像を保存して、ライブラリ化して行くことを目指します。毎月の定例会は、大豆戸地域ケアプラザや菊名・大倉山付近で開催しています。

● どんな活動をしているの？

これまでワークショップ・ピリオドが制作した作品は、次の通りです。

- ◆らくらく街.15(らくらく市の記録)
- ◆WC2002こころのキャンプ村(ワールドカップの記録)
- ◆みどりの風にのって(アトカレんの日々)
- ◆菊名「川」物語『菊名に川が流れてたんだって』
- ◆港北今昔物語「まぼろしの篠原城」
- ◆よみがえる篠原城
- ◆早くしないと死んじゃうよ!(菊名おでかけバスの記録)などの地域映像を作成しています。

ワークショップ・ピリオド

ホームページ: <http://period.yokohama/>  
 メール: [ws.period@kikunagawa.net](mailto:ws.period@kikunagawa.net)  
 電話: (045)401-6063 (担当 小林)

小さなフィルムのための小さな映画祭  
ホームムービーの日(HMD)

観たいのは、あなたの8mmフィルム!

あなたの家の押し入れに、もう何年も観ていない古いフィルムは眠っていませんか？そんなフィルムがもし見つかったら、どうぞお気軽にご相談ください。

<お問い合わせ先>

メール: [iwsk-375@tgh.iuc-net.ne.jp](mailto:iwsk-375@tgh.iuc-net.ne.jp)

電話: 080-5000-4489 横浜フィルムアーカイブ  
 ホームムービーの日 in 横浜港北実行委員会  
 (担当 岩崎)

ホームムービーの日  
(HMD) とは？

毎年10月の第3土曜日に、懐かしい映画フィルムを持ち寄って上映する国際的な記念日。2003年にアメリカのフィルムアーキビストが発案し、2017年には世界19カ国90会場、国内15会場で開催されました。子どもの成長記録や家族旅行の記録、小学校の運動会、いつの間にか失われた街並みに、ちょっと恥ずかしい青春時代の自主映画...映写機のカタカタという音とともにスクリーンによみがえる、懐かしの映像を皆で楽しみ、次の世代に伝えていきます。



Home  
Movie  
Day

homemovieday.jp

